

第1回 絆プロジェクト事例報告会

テーマ「連携のさらなる高みへ！！ ～新時代の支援～」

寒い日が続く今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。

さて、このたび第1回絆プロジェクト事例報告会を開催することになりました。

日頃の相談業務の中で、専門外の相談で困ったことやたくさんの悩みを抱えた相談者の対応で困ったことありませんか。

今回の事例報告会のテーマは、『連携のさらなる高みへ！！～新時代の支援～』。連携をさらにすすめ、平成から新しい時代に向けて支援や連携のあり方について考えます。

皆さんが、日頃の業務で困っていることのヒントが見つかるかもしれません。是非、ご参加ください。参加をご希望の方は、下記の申込先までメール、あるいは裏面の FAX用紙のどちらかで、①お名前・②ご所属・③ご職種・④ご連絡先をお知らせください。多くの方のご参加をお待ちしています。

*本事業によって得た個人情報は、当研修会参加者台帳の作成のために使用します。

1. 日時：2019（平成31）年3月9日（土） 13：00～16：30

2. 場所：浜北文化センター 3階 大会議室（浜松市浜北区貴布祢 291-1）

3. 内容：第一部 事例報告

複数の困りごとを抱えた相談者に対応した事例を3つ紹介します。それぞれの事例ごとに、事例に関わった他の機関の方にもご登壇いただき、どのように対応したのかりレー方式で報告します。

事例① 地域包括支援センター

事例② 浜松市社会福祉協議会

事例③ 浜松市生活自立相談支援センターつながり

第二部 シンポジウム

相談者に対してどのような連携が求められるのでしょうか。「連携のさらなる高みへ!!」と題してシンポジストが、連携のあり方について意見を交わします。

シンポジスト予定者：澤本友子氏（地域包括支援センター三方原：管理者）

鈴木美枝氏（浜松市社会福祉協議会：CSW）

上原 久 氏（浜松市生活自立相談支援センターつながり：所長）など

4. 定員：250名 対象：司法・医療・福祉・行政・民生委員等の方 費用：無料

【お問い合わせ先・お申し込み先】

自殺対策地域連携プロジェクト事務局（サポステ浜松 加藤あて）

E-mail: kizuna-pj@npo-e-jan.com FAX:053-453-8745

※この事業は、NPO 法人・遠州精神保健福祉をすすめる市民の会が受託しています。

FAXにてお申込の方はこちらの用紙をご利用ください。

FAX 番号 053-453-8745

絆プロジェクト 2019年3月9日(土) 事例報告会

FAX 申込用紙

① お名前(事業所名)	
② ご所属	
③ ご職種	
④ ご連絡先	電話番号かメールアドレスのどちらかをお教えてください。 電話番号： — —
(職 種)	お名前

絆プロジェクトとは・・・

平成22年度、多重債務等による経済・生活問題が深刻化する中、法律家(弁護士・司法書士)と精神保健福祉士の連携構築を目的として、浜松市自殺対策地域連携プロジェクト(絆プロジェクト)はスタートしました。

平成27年度からは、「浜松市自殺対策における多職種連携支援業務」として、多職種による連携構築、行政との連携強化を目指してケースワークや事例検討会などの活動をしています。

自殺は、その多くが追い込まれた末の死である。自殺の背景には、精神保健上の問題だけでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などの様々な社会的要因があり、平均すると4~5つの悩み事を抱えていると言われています。

1つ2つと悩みごとが解消すれば、自殺のリスクは下がります。

つまり、皆さんの行っている相談などの生活支援は、自殺対策そのものです。

その支援に少しでもお役立ていただくために、私たちは活動します。